



広報

第863号

平成24年(2012年) 4月1日

毎月1日・15日発行

編集・発行
猪名川町秘書広報室

いながわ

人口 32,370人
世帯数 11,915世帯
(3月1日現在)

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 072 (766) 0001 (代表) ファックス番号 072 (766) 8902

小さくても輝くまち猪名川町をめざして

福田町長が平成24年度施政方針を表明



2月24日に開会した第360回町議会定例会において、福田町長が平成24年度の施政方針を表明しました。これは新年度に行う施策や事業に対する町の考えを示したものです。施政方針の全文は町ホームページに掲載するとともに、役場総合窓口でも閲覧できます。

私が町長に就任してから任期の半分が経過し、3年目に入りました。まちの主役である住民の皆様が未来を思い描きながら、生き生きと暮らしていけるよう、「小さくても輝くまち猪名川町」の実現に向け、全力で取り組む所存でございます。

里山については、里山再生基本構想に基づく取り組みを進めており、町内における木質資源の活用と循環について、長期的な展望を持ちながら構築してまいります。

里山再生

危機管理体制

昨年3月11日、東日本大震災が発生し、多くの尊い命が失われました。震災から1年が経過しましたが、今なお、多くの人が苦難の中で生活再建に向け、懸命に取り組まれています。

本町においても昨年、危機管理室を設置し、まちづくりの基盤である安全・安心の専門部署として取り組みをはじめました。

まちの活性化

4月8日には、新たな春のイベントとして、「2012いながわ桜まつり」が開催されます。

「住みたい 訪れたい 帰りたい ふれあいのまち」を実現したい。

きずな・協働

本町ではこれまでニュータウン開発により着実に人口が増加してきましたが、少子高齢化の影響から、人口減少への大きな転換期となっています。

同時に、税収の落ち込みが予測され、今後も厳しい財政運営が続いてまいります。

『笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川』

第二次男女共同参画行動計画をスタートさせ、「男女とも個性輝き未来をつくる猪名川町」の実現に向け、取り組みます。

防犯対策では、暴力団排除に関する条例を制定し、警察など関係機関とともに地域をあげて連携し、安全な住民生活を確保します。

応急処置を更に高度化させるため、高規格救急自動車1台を更新します。また、消防団の機動力を強化するため、小型動力ポンプ付積載車1台を更新します。



▲高規格救急車の更新

『こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川』

メダカの里構想に基づき、希少生物であるメダカを守り育てることにより、生物多様性の保全に取り組みます。北プール跡地を活用し、水生生物などの幅広い啓発とメダカの育成を実践する施設整備を進めます。



▲メダカの育成

公園では、つつじが丘地内の公園について地域のワークショップなどの意見を基に遊具の設置を進めます。

ごみ収集では、びん分別収集における労力軽減策として、軽量化した回収容器を、一部の地域において試行的に配布し、検証を進めます。

『こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川』

「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」の育成をめざし、就学前教育から中学校までの強固な連携とゆるやかな一貫教育を展開します。

阿古谷小学校は、平成25年4月に松尾台小学校へ統合するため、児童が新たな教育環境に溶け込める準備を進め、また、安全に通学できる通学路整備に取り組みます。

学校給食センターは、よりよい給食を目指し、老朽化対策や食育およびアレルギー対策などに対応するため、平成26年供用開始に向け施設の更新に取り組みます。

特別支援教育では、スクールアシスタントを配置し、わかりやすい授業づくりに努めます。

B&G海洋センターは、施設の経年劣化に対応するため、改修を行います。

多田銀銅山遺跡や歴史街道への来訪者が年々増加していることから、周辺道路への路上駐車対策として、駐車場整備を行います。また、堀家製錬所跡遺跡周辺の整備を進め、多くの人が身近に歴史遺産に触れる機会を提供します。



▲B&G 海洋センター

『いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川』

新たな認定こども園の開設とともに、引き続き認可外保育所利用者への助成など、子育て支援の充実を図ります。また、子育て世代のふれあいと交流、身近な相談の場となる「つどいの広場事業」を拡充します。

高齢者福祉では、町北部地域において、高齢者福祉サービスの充実に向けた施設誘致に努めます。

障がい者施策では、第3期障がい福祉計画に基づき、一層の福祉サービスの充実を図ります。

食文化を通じた地域間の交流、世代間の交流を図るため、「食」をテーマとした、「ふるさとお国自慢料理大会」を開催します。

『活力とにぎわいのあるまち 猪名川』

農業では、担い手や新規就農を希望する非農家への農地の斡旋、農業体験を促進する市民農園制度や援農ボランティアなどをJAによる就農支援と連携し、農政を推進します。

市街化調整区域の土地利用では、大島小学校区に続き、楊津小学校区・阿古谷小学校区のまちづくり協議会において、特別指定区域制度の活用を進めます。

橋りょうでは、パークタウン内のトンガリ橋の修繕工事を行います。

公共交通では、身近で利用しやすいふれあいバスに向け、適時見直しを進めます。



▲そばの収穫

『人びとと行政がともに歩むまち 猪名川』

広報紙は、平成25年1月号より紙面内容を充実させ、A4冊子版にして全戸配布します。情報提供の充実に向け、ひょうご防災ネットを活用し、町のイベント情報などをメール配信します。また、町の手続き案内や歴史・文化・医療機関などをまとめた「い〜なガイドブック」を新たに発刊し、全戸配布します。

ふるさと納税の寄付金を町政に活用するとともに、第二のふるさととして親しんでいただけるよう、更なる啓発や制度周知を図ります。